

三郷市まちづくり委員会第4回会議 会議録

開催日時	令和7年8月28日(木) 14:00~15:59	
開催場所	三郷市役所 本庁舎6階 全員協議会室	
出席者	委員	篠宮委員長、鴈副委員長、大山委員、恩田委員、加藤委員、山口委員、神谷委員、水落委員、黒澤委員、池上委員、大熊委員、荒尾委員、佐藤委員(13人/15人)
	三郷市	日暮企画政策部長、平川総務部長、松本危機管理監、妹尾財務部長、浅井市民生活部長、小暮地域振興部長、益子いきいき健康部長、田中福祉部長、須賀こども未来部長、相馬建設部長、城津まちづくり推進部長、田口会計管理者、浮田水道部長、山本消防長、西村学校教育部長、横田生涯学習部長、島村議会事務局長、萩原行政委員会事務局長
	事務局	企画政策部 松井副部長 企画政策課 斉藤課長、澤野課長補佐兼企画調整係長、渡邊主任、遠藤主事 富士通(株) 東シニアディレクター、石丸コンサルタント
傍聴者	0名	
公開又は非公開の別	公開	
議題等	1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 協議事項 (1) 今後の議事進行について (2) 第5次三郷市総合計画後期基本計画【まちづくり方針1~3】に係る答申案の検討について (3) 第5次三郷市総合計画後期基本計画(案)【まちづくり方針4~6】について (4) 第5次三郷市総合計画後期基本計画【まちづくり方針4~6】に係る答申案の検討について 4. 閉会	
配布資料	次第 【資料1】今後の議事進行について 【資料1 参考資料①】諮問・答申の内容 【資料1 参考資料②】まちづくり委員会の進行について 【資料2】第5次三郷市総合計画後期基本計画に係る答申案の検討について 【資料2 別紙】まちづくり方針1~3に対する答申案の検討 【資料2 参考資料①】第3回会議 議事録(暫定版) 【資料2 参考資料②】第5次三郷市総合計画後期基本計画 施策内容(案)(まちづくり方針1~3) 【資料3】前期→後期のポイントまとめ 【資料4】第5次三郷市総合計画後期基本計画 施策内容(案)(まちづくり方針4~6) 【資料5】まちづくり方針4~6に対する答申案の検討 【参考資料①】第5次三郷市総合計画後期基本計画序論案三郷市まちづくり委	

	員会第2回会議時点) 【参考資料②】三郷市まちづくり委員会 会議意見・提言シート 【当日追加資料】第4回会議事前質問シート
--	---

【議事要旨】

1. 開会

2. 委員長あいさつ

本日の協議事項は、今後の議事進行のあり方、そして後期基本計画におけるまちづくり方針4～6、及びそれに関わる答申案の検討である。

先般、委員各位へ会議の進め方について書簡を配布し、諮問事項や会議の趣旨を説明した。これまで、会議の進行が分かりにくい点や、委員の皆様への負担が増加しているという認識がある。これらを改善し、より多くの貴重なご意見を分かりやすい形でいただくための工夫が必要であると考えており、この点については、後ほど事務局より詳細な説明を行う。

会議では、後期基本計画案に対し、具体的なデータや説明に縛られることなく、「三郷市はこうあるべきだ」「普段こう感じている」といった率直で貴重なご意見を、積極的に表明してほしい。皆様の多様な視点からのご意見こそが、今後のまちづくり委員会における、より良い議論、そして実りある成果につながると確信している。本日も活発なご意見をお願いしたい。

3. 協議事項

(1) 今後の議事進行について

事務局より【資料1】に基づき、今後の議事進行について、後期基本計画の審議及び数値目標の扱いについて説明。委員からの発言のしやすさや委員負担の軽減を図るため、委員会での協議事項を明確化し見直しを提案した。

これに関し、委員からの質疑・意見はなく、採決の結果、事務局案のとおりとなった。

(2) 第5次三郷市総合計画後期基本計画【まちづくり方針1～3】に係る答申案の検討について

事務局より【資料2】に基づき、第5次三郷市総合計画後期基本計画におけるまちづくり方針1～3にかかる答申案の検討方法について説明があった。委員に対し、後期基本計画期間中に「特に力を入れてほしい事項」や「優先的に対応する必要があると感じる事項」、また「各委員が懸念する市の課題となりうる社会動向」など、日常生活や各所属団体での活動を通して感じていることを踏まえた率直な意見の提示を求めた。

これに関し、主に次のような質疑・意見が出た。

【まちづくり方針1に関する意見】

- ・方針1の災害に強いまちづくりについて、行政による公助はもちろん重要であるが、各世帯での備えや自治防災組織の構築といった「自助」の推進を、より積極的に市民に強く働きかける必要があると考える。(神谷委員)

【まちづくり方針2に関する意見】

- ・少子化の進行、地域コミュニティの衰退が進む中、地域と学校のつながりを強くしていくことは、こどもたちにとって非常に良いことであると考え。三郷市においてもコミュニティスクールがスタートしており、この連携強化は一層重要である。一方で、老朽化した学校施設の維持管理にかかる莫大な費用や、単学級化の進展といった教育環境上の課題も存在する。これらの課題に対処しつつ、地域コミュニティ全体の向上を目指すには、教育

環境と制度の整備が不可欠である。具体的には、地域の実情に即した学校の区割りや再編成を、今後10年、20年という長期的な視点から検討してほしい。現在のように、人数が多いという理由だけで学校を分けるのではなく、各地区や自治会・町会に合った学区編成を行うことで、地域と学校の結びつきをより強固なものにできる。これは、防犯や防災といった様々な分野においても良い影響をもたらすと考える。また、中学校が8校あるのに対し、地区が6つという現状のずれや、こどもの減少傾向の中で全ての学校が必要なのかという点も考慮し、学区の再編を検討してほしい。学校選択制についても、地域と学校の結びつきという観点から疑問点があるため、再検討の余地があると感じる。(篠宮委員長)

- ・篠宮委員長から話のあった学区編成について、事前確認で事務局に対し現在の検討状況を尋ねたところ、学校建て替えの話は十分な見通しが立っていることが確認できた。しかし、この情報が市民に十分に周知されていないように感じるため、見通しが立っているならば、市民に分かりやすくアピールすべきであると考えます。(神谷委員)
- ・人口減少は多くの市が抱える課題であり、三郷市でもこの解決策を考える必要がある。この点において、さいたま市が教育に導入している「グローバルスタディ」が非常に参考になると考える。これは小学校1年生から中学校3年生まで英語をバランスよく学ぶもので、授業を英語で行うことで実践的な英語力を養っている。これまで、英語は「できたら良い」という認識であったが、今後はビジネスの場において英語が必須となる時代が来ると予想される。このような時代において、三郷市ならではの魅力的な教育、例えばグローバルスタディのような独自性のある取り組みを推進することは、人口減少対策に直結すると考える。質の高い魅力的な教育は、三郷市在住の家庭がより多くのこどもを産み育てたいと考えるきっかけとなり、人口の自然増を促進する。また、市外の人々にとっても、そうした教育環境を求めて三郷市への転入を促し、社会増につながる効果も期待できる。人口減少という大きな課題解決に向け、このような三郷市ならではの魅力となり得る施策を検討していくことは、非常に有益だと考える。(山口委員)

【答申案の方向性に対する意見】

- ・答申案の方向性が多岐にわたる中、商工会からの出向者としては、都市としてより重要なインフラ整備や商業振興に重点を置くべきであると考えます。特に商業振興に関しては、例えば、プレミアム付デジタル商品券のような商業振興策は単発的ではなく、恒常的に実施されるべきであると以前から提案している。現行の計画で十分に明記されていないこれらの点について、さらなる考慮と明確化を期待する。(神谷委員)
- ⇒これら委員からいただいた意見を踏まえ、答申に盛り込む文言を整理し、次回提示する。(事務局)

(3) 第5次三郷市総合計画後期基本計画(案)【まちづくり方針4～6】について

事務局より【資料3】及び【資料4】に基づき、第5次三郷市総合計画後期基本計画のまちづくり方針4～6に本文(案)について前回との変更点を中心に説明。また、本文(案)に対し委員から事前に提示された質問について、【当日追加資料】である第4回会議事前質問シートに基づき回答を行った。

これに関し、主に次のような質疑・意見が出た。

- ・物流車両の駐停車問題について、大型物流施設だけでなく、三郷南インター周辺の中小規模な物流会社にも目を向けるよう求める。当該地域は道が狭く、インター横の側道にトレーラーが停車している状況が見られる。また、敷地内での作業が困難なため、路上で作業

を行うケースがあり、これがこどもの通学路となっており非常に危険である。警察にも連絡しているが、連携が難しい状況にあるため、三郷南インター周辺の中小企業に対する配慮と、交通安全の観点からの改善を要望する。(池上委員)

⇒大規模な物流施設に目が向きがちであり、これまで待機場所の整備などについて中小企業を含めた事業者への要請は十分ではなかった可能性を認識している。しかし、開発許可に係る一連の手続きの中で待機車両に関する要請を行っていることも付言する。委員が指摘するような現地で問題発生は看過できないため、まちづくり推進部としては土地利用の規制誘導を進める一方、市内の交通安全・交通対策担当の部署とも緊密に連携し、この問題にしっかりと取り組んでいく。(城津まちづくり推進部長)

・三郷中央駅周辺は街並みが整備されているものの、飲食店や飲める場所が不足しており、もう少し充実してほしい。以前、高架下のスペースなどを利用し、市内で新たに飲食店を始めたい人を支援することで、街の賑わい創出と店舗の活性化を同時に図れるといった話を聞いたことがある。このような取り組みが実現できないか。(篠宮委員長)

⇒三郷中央駅周辺は商業系の用途地域であり、都市計画上は飲食店等の誘致を意図していたが、計画と実際の土地利用にはギャップが生じている。これは、(ルール内での)地権者による自由な土地利用の結果であり、やむを得ない部分でもあるが、委員の指摘の通り、当初目指した姿とのずれがあることは認識している。TX 高架下の利用については、これまで議会でも質問が寄せられており、TX と連携し2年前にキッチンカーを試行したことがあったが、十分な成果は出ていなかった。今後にもぎわい創出の取り組みを検討する。最後に、三郷中央駅前広場の再整備について、現在検討および設計を進めている段階である。詳細は未発表だが、今後適切なタイミングで市民に情報を公開していく予定である。(城津まちづくり推進部長)

・三郷市が「図書のまち」を謳っているにも関わらず、その象徴となるような場所がないと感じている。例えば新潟県長岡市では、駅前に喫茶店のような感覚で利用できる多機能な図書館があり、自然と多くの人が集まってくる。三郷市においても、単なる本の貸し借りだけでなく、もっと人々が集い、本に触れる機会を創出できるような、従来の図書館の枠を超えた施設を駅前に整備すべきである。長岡市の図書館は民間事業者も参画し、多様な機能を提供している。そうした柔軟な発想で、図書館のあり方を検討してほしい。(水落委員)

⇒図書館においては、企画イベントの充実やスムーズな貸し出し・返却環境の整備に加え、事業の多様化を通じて魅力ある新たな利用形態を追求していく考えである。委員が指摘されたような、多角的な機能を持たせ、多様な人々が集える方策についても、今後検討を進めていきたい。(横田生涯学習部長)

・【資料4】で示された賑わいのある商業振興のうち、商店街に関する修正内容(20~21 ページ)について、商工会内部でも議論があったが、現在の商店街事業が三郷市全体に利益をもたらしているのか、地域格差が生じていないか疑問視している。駅前のイルミネーション事業が助成金に大きく依存して実施されている現状をみると、商店街が後継者不足や売上減少で厳しい状況にある中、この取組を従来どおり踏襲していくことに疑問がある。市が「スポンサー」として助成金を出すのであれば、商店街に対し、その運用改善を強く提言する必要があるのではないか。事業の実施主体が市でなくても、支援対象としている団体に対しては、より踏み込んだ改善を促すべきであり、安易に「支援します」と明記することには懸念を覚える。市の事業では、一度外部団体に委ねた際に、連携が不十分であったり、運営が自由になりすぎたりしている例が多いように感じる。そのため、支援する団

体に「任せっぱなし」にするのではなく、市側も関与を続けるべきだと考える。(神谷委員)
⇒商店街の現状を踏まえ、継続的な支援活動のあり方について、今ここで可否を明言することはできないが、いただいた意見を真摯に受け止め、今後の検討の参考としたい。(小暮地域振興部長)

(4) 第5次三郷市総合計画後期基本計画【まちづくり方針4～6】に係る答申案の検討について

事務局より【資料5】に基づき、まちづくり方針4～6に対する答申案の協議・検討方法について説明。

これに関し、主に次のような質疑・意見が出た。

- ・会議の進め方が新しい方式となり、まちづくり方針1～3については事務局より叩き台があったが、白紙の状態からの議論は難しいと感じる。本日の事前質問シートにあった内容は委員の関心が高い事項であるため、これをたたき台として何らかの形でイメージを提示してほしい。全ての意見を反映すると広範囲になるため、重要だと思うものに焦点を当てて構成すればよいのか、今後の進め方について確認を求める。(鴈副委員長)
- ⇒まちづくり方針1～3について事務局の答申案について協議したように、次回の会議には、本日出た意見や事前意見を含め、事務局でまとめた叩き台を用意し、次回の委員会前に資料として共有する。これにより、これまで出てこなかった意見や、他の委員の意見を聞いて新たに気づいた点があれば、その場で提示し、答申案に反映させていく形としたい。(事務局)
- ・委員の意見が後期基本計画に反映されるなら答申に書く必要はないとも考えられるが、計画案がまだ確定していない中で、どのように自身の意見を調整し、答申案に反映させていけばよいか、複雑で難しいと感じる。(鴈副委員長)
- ⇒委員から指摘された点で後期基本計画に反映可能なものについては、市の回答のとおり検討を進め、計画に盛り込む。完全に反映しきれてない部分については、Q&A形式の回答に記載している。そうした部分でなお強く答申として意見したい点があれば、委員会からの意見として追加で提示してほしい。最終的な答申案は、一つの意見に対して委員間で多様な見解があることを踏まえ、事務局で意見がすり合うような文言を調整し作成する。委員には、ご自身の意図が反映されているか最終案を確認し、意見を提示してほしい。(事務局)

5. 閉会

閉会にあたり、鴈副委員長よりあいさつがあった。

本日も長時間にわたり、第5次三郷市後期総合計画後期基本計画の策定について審議いただき、誠に感謝している。事務局には、これまでの委員の意見及び今後の意見を十分に計画や答申案に反映させるよう改めて要請したい。

以上

上記内容について、相違ありません。

令和 7 年 10 月 2 日

委員長

篠 宮 尚

署名委員

鴈 咲 子

署名委員

水 落 文 夫
